Day 10 August 4(Fri.), 2023

本日のアッシュバートンは、最高気温１５℃、最低は２℃、霜の降りる寒い朝でした。生徒たちは今日もバディと楽しく会話をしながら、元気よく登校してきました。

今日は大学訪問の日。８時４５分にバスベイに集合して、バスでクライストチャーチに向かいます。バスに揺られること１時間ほど。まずはリカトンモールというクライストチャーチ市内にあるショッピングモールに到着です。２時間ほどの自由時間をもらった生徒たちは、グループごとにショッピングモール内を回って、スーパーマーケットなどでお土産を探したり、カフェでお茶をしたりしていました。ホームステイをしていると、出かけたときにもホストファミリーが注文してくれたりするようで、自分で英語を使って注文してお金を払ったり、コミュニケーションしたりするいい機会にもなったようです。

モール内で各自お昼も済ませた後、カンタベリー大学に向かいます。立派な大学の建物に驚きの声をあげながら、本日授業を受ける教室に入りました。今日は、カンタベリー大学の日本語の教員で、２０１９年にはニュージーランドの大学教員ベスト１０にも選ばれた、荻野雅由先生の授業を、カンタベリー大学の生徒たちと共に受けます。荻野先生は、「ことばの教育×Well-being（幸福で肉体的、精神的、社会的に満たされた状態）」のパイオニアとして、日本語教育の実践と理論構築に力を入れていらっしゃる先生です。今日の授業でも、ただ日本語の言葉を教えるだけでなく、その言葉の持つ意味、その言葉が私たちにとってどんな意味を持つものなのか、という深いところまで説明してくださる場面が多くありました。

授業は、本日の漢字「息」から始まりました。「息」にはどういう意味があるのか、という話、また、「息をする」ことが「生きる」という言葉の語源になったという話を先生がされたときに、本校生徒たちからも「なるほど」という声が上がっていました。そして、みんなで１分間、呼吸と自分の内側に目を向けながら「息」をします。この時点で、荻野先生の授業に、すっと引き込まれていく感じがしました。

そこからは、カンタベリー大学の生徒と日本語、英語交えながら交流していきます。まずは、みんなで動き回り、荻野先生が合図を出したところでペアやグループを作り、自己紹介をするウォームアップを何度かやりました。その中で、相手の自己紹介があった時には拍手をして、「いいね」とポーズをとる、という指示もあり、お互いに笑顔でポーズを交わしていました。

その後、４人グループになって、日本語で自己紹介をした後、日本語／英語との出会いと、それを学ぶ目的、学ぶ方法をトピックとして会話をします。その後、グループメンバーを入れ替えて、今度は英語で将来の夢についてお互いに語りました。そして最後に、みんなで円になり、「手締め」をしました。荻野先生の授業流の「手締め」を教わり、円には「完全」や「ご縁」の意味があることも教えてもらって、一体感のある、明るい雰囲気で授業が終わりました。

　その後は２～３人のグループになり、カンタベリー大学の生徒の案内でキャンパス見学をしました。日本語を勉強している生徒さんたちなので、英語、日本語交えて楽しく話しながら周っていたようです。楽しい時間を過ごした生徒たちは、荻野先生やカンタベリー大学の生徒に見送られて、バスで大学を後にしました。
　明日からはホストファミリーと過ごす最後の週末です。あっという間にアッシュバートンを出る日が近づいてきました。別れの時を思うと寂しくなると思いますが、悔いの残らないよう、最大限楽しい週末を過ごしてくれることを期待します。